

10・21 国際反戦デー 港合同学習会

# 戦争のリアルと安保法制のウソ

## シリア内戦とメディアの現状

イラクの子どもを救う会代表 西谷文和さん



昨年夏、多くの反対の叫びと闘いを押し切って安倍政権は戦争法を成立させました。なんでこんなことになるのだろうという疑問。パツとしない安倍政権が支持され続ける理由。急に激に戦争へと舵を切って

行く日本。危険で未来にとてつもない禍根を残すことが明らかな原発の再稼働。戦争を続けるアメリカの基地建設のために人々は弾圧され、生活が破壊され、取り戻すことができない自然が壊されていく沖縄。怒りを覚え

るのだが、その前にやはりなんで？という疑問が渦巻く。誰もが安心、安全、平和がいちばんやんと望んでいると思っていた。が、いちばんではなかった。カネがいちばんという一握りの人間が今や世界を牛耳っている。戦争は儲かる。テロとの戦いは儲かる。これまた新たな疑問が生じる。なんでそんなにまでして、ど外れたカネに執着すんねん？と。そういう学習会でした。「忘れない。

あきらめない。だまされない」国際反戦デーにぴたりでした。

ところで、実は、学習会の報告を書こうとしていたのですが、まとまらずテープ起こしになりました。ニュースの号外とします。というわけで、私の個人的な感想で終わってしまうのです。すんません。

編集委員 T

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！